

掛けふとんに求められる性能

<快適性の面から>

①保湿性

睡眠時の体温の低下や寝室の冷氣から体温を保持するために保湿性必要である。

②吸湿・透湿・放湿性

私たちは一晩にコップ一杯分の汗をかかると言われている。汗をかくと湿度が高くなり、寝苦しくなるので、「蒸れ」を防ぐために吸湿・透湿・放湿性が必要である。

③軽さ

私たちは一晩に約 20 回の寝返りを打ち、血液の循環を良くしたり、寝床内の温度・湿度の調整を行っている。重い寝具は、人体負担をかけ、寝返りを妨げる。掛け寝具は体に負担をかけない軽さが必要である。

④ドレープ性

掛けふとんには、寝床内の暖かさを逃がさないためにも身体に添いやすい柔らかさ（ドレープ性）が必要である。

<生活利便性の面から>

①日頃の手入れのしやすさ

②収納性

③衛生機能

④クリーニング性